

北鉢立発堀調査概要

1975

田辺町教育委員会

京都府綾喜郡田辺町北鉢立遺跡発掘調査概報

昭和50年8月27日

調査担当者 田辺中学校教諭 粟野 謙

全 田辺町教育委員会主事 奥田 清

調査指導者 日本考古学協会会員 江谷 寛

1. イ 遺跡の名称 京都府綾喜郡田辺町北鉢立遺跡

ロ 所 在 地 京都府綾喜郡田辺町大字興戸小字北鉢立19番地ノ1・19番地ノ2

2. 遺跡を調査するにいたるまでの経過

昭和50年6月中旬、田辺町教育委員会は田辺町立田辺中学校の校舎立替を決定した。田辺中学校の敷地の全部が、京都府遺跡地図「田辺町」の29興戸遺跡、30興戸廃寺として登録されているので、田辺町教育委員会は種々協議して、校舎の立替の一部分については事前に遺物の探査調査を行う事を決定し、予算化の手続を取った。7月初旬、田辺中学校教諭粟野謙氏、日本考古学協会会員江谷寛氏に発掘調査を依頼した。田辺町教育委員会は発掘調査届を京都府教育委員会文化財保護課を経由して、文化庁に提出した。この間6月下旬に京都府教育委員会文化財保護課記念物係長提主三郎氏の来訪を願い、その指導を受けた。生徒の安全、校舎立替の立場より急遽7月23日より約5日間の予定で発掘調査を開始した。

3. 調査経過

(1) 調査期間 昭和50年7月23日～7月28日の5日間(日曜日は除く)

(2) 調査員 調査責任 田辺町教育委員会教育長 篠下 勝一

調査指導者 日本考古学協会会員 江谷 寛

調査担当者 田辺中学校教諭 粟野 謙

* 田辺町教育委員会主事 奥田 清

調査補助 以下4人の学生諸君 石川 稔・山岡 康人

中坊 哲也・村田 照久

福島 雅義

(3) 遺跡名 田辺町北鉢立遺跡と呼称する。

(4) 発掘調査

7月23日⑥ 調査員3人。調査補員 村田照久ほか4人現場で発掘調査協議。

田辺中校門南5mの地点にBMN.14(田辺町)36.285mがあり、これを基準点とし西側の自転車置小屋コンクリート敷地に沿って「縦70cm横5m×50cmのトレンチの杭を打つ」オ1トレ

ンチとし西南自転車置トタン小屋内に縦50cm横2m90cmの才2トレンチ、続いて才2トレンチに約30cm畦畔を置いて同方向に「縦50cm横2m90cmの才3トレンチを設置、杭を打つ」

自転車置小屋の北側のコンクリートに沿って、縦80cm横6m60cmのトレンチの杭を打ち、才4トレンチとした。本遺跡より西側の急傾斜の「丸山」は從来より古墳と言われて来たのでその周辺部の調査を兼ねてトレンチを才2、才3と入れた。

擾乱層中の地山にめり込んで北壁より80cmの地点に巾50cm大の石と、その上に巾30cm大の石があった遺構との関係は不明。南壁の黒褐色混砂粘質土の層に全く遺物検出されず、午後より才2、才3トレンチを「丸山」に沿って地山の線まで掘下げる。層位は略平行、移動の形跡は認められず遺物包含層なし。

7月24日④ 調査員3人 調査補助員5人

才4トレンチは特に表土浅く遺物包含層は竹べらで作業を進める。遺物包含層を中心に作業。各層と比較考察遺物を残こし落込みをさらえる。

土師器 38点 須恵器 11点 玉類 2点

7月25日⑤ 実測開始 O P36を設置。各トレンチ、才4トレンチの細部調査。落込の南北壁を破ぶり拡大すると僅かで擾乱されていたので中止する。

7月26日⑥ 各トレンチ現場考察 遺物届出 文書作成

7月28日⑦ 発掘遺物整理 報告書(概報)作成 經理事務報告

4. 遺跡附近の概況

田辺中学校建設当時(昭和22年)の状況は、田辺町郷土史会村井博氏によると田園であったと明言され、工事を行う時かなりの土を取去っているとの事であった。又、創立時の職員、西田彦一氏によれば、古墳関係品が出土したとの報告も知らされている。この附近には興戸の丘陵地帯が薪地区の丘陵地に統いて略南北に走り、この丘陵地の中に寿命寺山古墳、その他があり、又隣接地、京都府立田辺農事試験場附近の興戸庵寺や興戸遺物散布地もこの附近であり、同志社の敷地丘陵にある高木天神山遺跡は本丘陵の南2kmの地点で、東は草内の条里遺跡に統いている。田辺町史に書かれている鉢立の松は本遺跡より東100mの地点である。

5. 遺跡について

才1トレンチ

才1トレンチの層は田辺中学でみ埋没地を作るため殆んど擾乱されていた。

才1トレンチの北壁より南に70cmと南壁より北に80cmの層位は擾乱されておらず、地山の灰色混砂粘質土(才1層) 黒色粘土(才2層) (キブシ) 深色砂層(才3層) 黑褐色混砂粘質土、

(オ四層) 黄色砂質土(オ五層)になっていた。このトレンチの北壁より70cmのオ四層厚さ20~30cmは黒褐色混砂粘質土層で(表土より12~13cm)この層のOP 36m以下の地点に保存のよくない古式と思われる。土師器片が見受けられたが、まとまった土師器片は発見できなかった。北壁より30cm位より上がりになり50cm位まで続いている。即ちこの層は落込みになっている、オ4トレンチの西壁80cmの地点につないでいたものと思われる。

オ2トレンチ

オ1トレンチで見られたような黒色粘土層は北より南西に続いている。地山の灰色混砂粘質土(オ一層)黒色粘土層(オ二層)茶褐色砂層(褐鉄鉱を含むオ三層)黄緑色砂層(オ四層)表土の順になっている。このトレンチの黄緑色砂層は整地層で、この層はオ3トレンチ北壁約70cmで終っている。略平行地層でオ1トレンチのような遺物包含層はなく従がって遺物の出土もなかった。

オ3トレンチ

オ2トレ: ちと大体よく似ている。灰色混砂粘質土(オ一層)黒色粘土層(オ二層キブシ)灰褐色混砂粘質土(オ三層)黄褐色砂層(オ四層)表土の順となっている。オ3トレンチの地山(灰色混砂粘質土)はやや上がり、表土より32cm位までになっていた黒色粘質土もオ2トレンチの約半分位の厚さ(約10cm)を保っていた。要するに、オ3層は砂まじり粘土でオ4層の黄褐色砂層(整地層)は北壁より70cmで上がり終っていた。

遺物包含層もなく出土遺物も全くなかった。

オ4トレンチ

地山灰色混砂粘質土(オ一層)黒色粘質土(オ二層)(キブシ)僅かであるが褐鉄鉱の沈澱層と灰褐色砂層(オ三層)灰褐色細砂層(オ四層)黑灰色粘質土(オ五層)表土となっている。

但し、西壁より3m位までの地点であり、東壁より西に1m=50cm層は地山(オ一層)黒色粘土(オ二層)褐色砂層(オ三層)灰褐色混砂粘質土(オ四層)灰褐色細砂層(オ五層)更に盛土をオ六層表土となっている、西壁より約80cm東の地点にオ五層の黑灰色粘質土がオ四層の灰褐色細砂層に掘込のように厚さ15cmを最長点に漸次その厚さはうすく上がりになって西壁より2m=60cm位で消えていた。この層が問題の遺物包含層で表土より深かくて20cmを超えない層である。遺物はこの層に集中し、須恵器約11点、土師器38点、破片、その他玉類2点が出土した。須恵器は西壁より約2mの地点OP 36m以下のやや砂まじり系の黑灰色粘質土より、土師器は主として西壁より1m=50cmのこの層の殆んど底部と見受けられる地点玉類も殆んど同じ地点であった。直ちに南北をつきとめるためトレンチを入れたが搅乱層で続きは発見出来なかっ

た。これは昭和46年自転車置小屋設置の際破壊されたものと思う。

6. 遺物について

須恵器11点

この中には須恵器の杯の約半分位原形をつなげる関係品があり「杯」の「たちあがり」と受部、体部とそろったもので、ここに「たちあがり」が殆んど垂直的に立上がり2cm位はある。古式の須恵器に該当し山城では松尾紋塚、八幡比留塚で見受けられるもので、本遺跡の時代決定の資料を得たのである。

土師器38点破片

土師器は土中の保存状態悪く、辛じて刷目がわかる程度であるが須恵器と略平行するものと思われる器形は不明である。

玉類、その他

土師器の出土したオ五層の黒灰色粘質土の西壁より約1m50cmの南壁附近で発見され直径約3mm、中央に穴あり石質は赤瑪瑙の小玉と思われるもの1点、又非常にやわらかな滑石の臼玉？1点、直径約5mm中央に1mm前後のきれいな穴が通っている。

又、これ等のオ五層黒灰色粘質土の西壁より1m位の地点に形象埴輪らしきもの（或は家形か）2点出土している。大きさは約10cm四方位の殆んど平板状のもので刻線は見受けられないと思う。

7. 結論

以上四つのトレンチと遺物の概況を述べたものである。重要なことは、オ1トレンチ北壁1m南までの地点、オ4トレンチ西壁より80cm～1m50cmの層は何れも黒灰色粘質土又は黒褐色混砂粘質土でこれらはオ1トレンチにつながるものと思われたので調査した結果擾乱され破壊されていた。

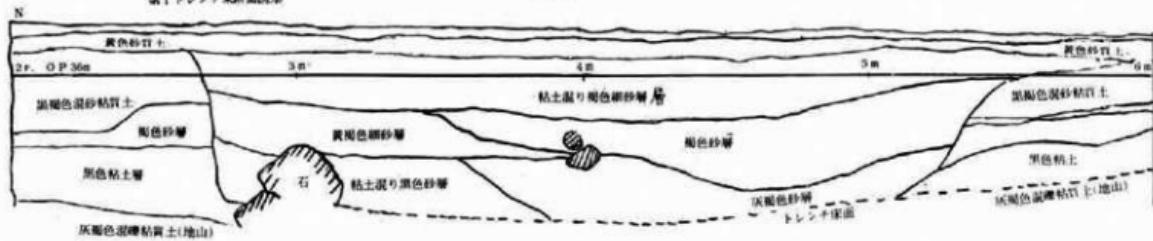
従がって単なる遺物包含層ではないにしても、それ以上の域を脱し得ない状況である。

今回の調査は既に述べた如く昭和46年11月自転車置小屋設置の際発見した遺物包含層を見届け造構か、それとも単なる遺物包含層かを調査する緊急発掘調査で短期間に終了せざるを得なかった状況で不完全ではあったが、概況を報告する次第である。

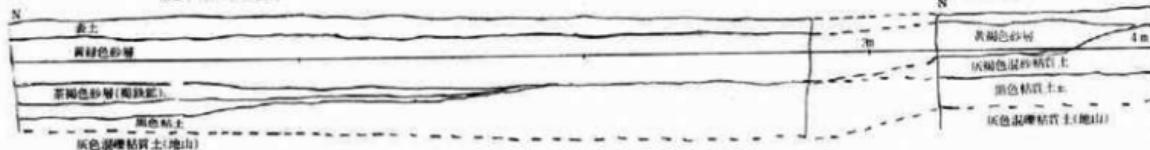
京都府北跡立遺跡

750723

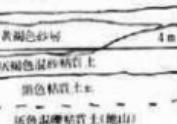
第1トレンチ東断面図



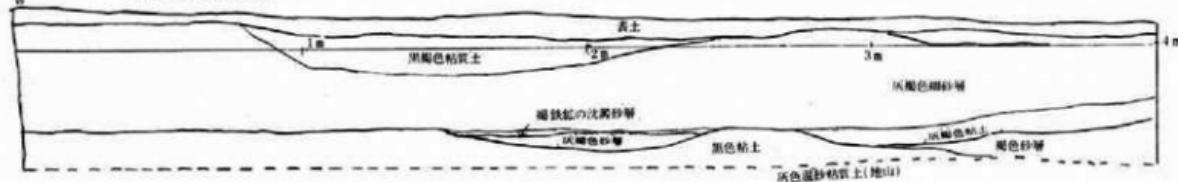
第2トレンチ東断面図

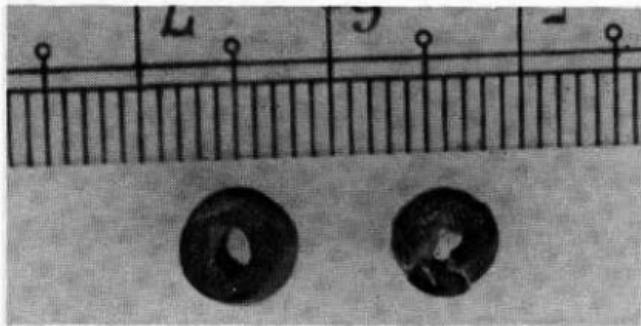
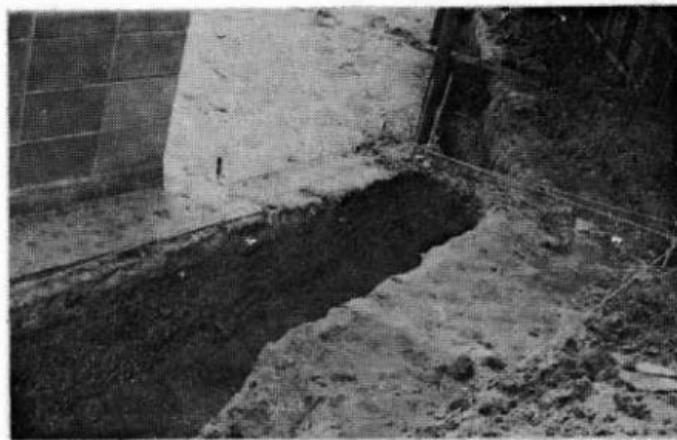


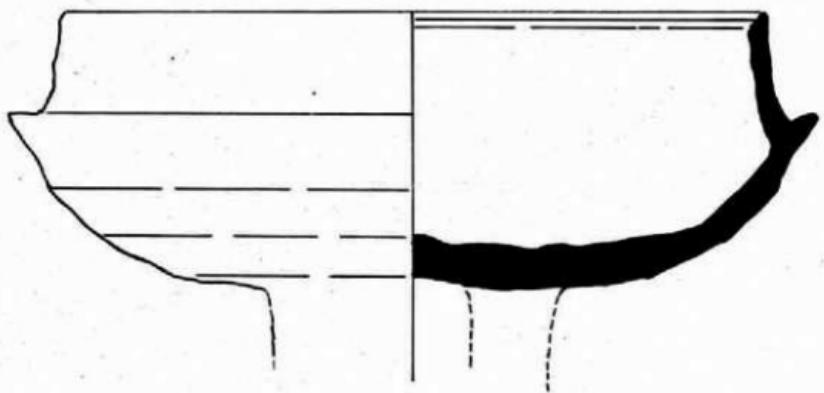
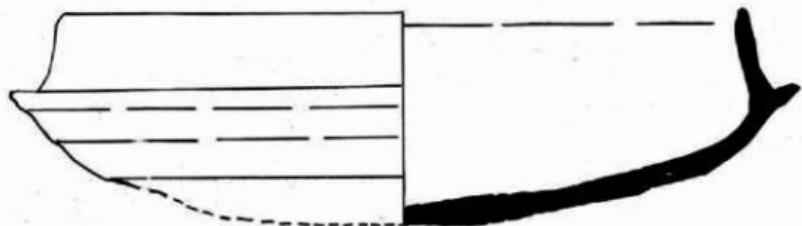
第3トレンチ



第4トレンチ北断面図







0. 5 cm

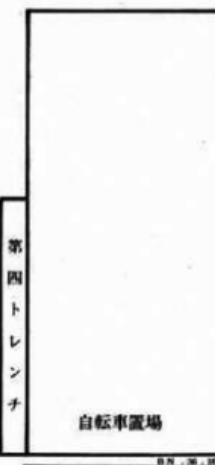
北鉢立遺跡出土遺物実測図

校 舍

校 庭

小 屋

溝



第三トレンチ

第二トレンチ

溝

